

生き物のすみかを考える

高学年程度

季節：春・夏 時間：各8時間

-  身近な田んぼのまわりや休耕田きゅうこうでんに出かけていき、生き物や生息環境を観察してみましょう。
-  実際に生き物が生息する環境を作って、生き物を飼育し、生息環境について考えましょう。

さあはじめよう (進め方)

- 1 水田きゅうこうでんや休耕田ウオッチングをしよう。スケッチをしたり、写真に撮っておくと、あとの活動に役立ちます。
- 2 飼いたい生き物を決めて、その生き物が生き続けることができる環境を考えます。
- 3 実際に「自分の水槽」をつくって飼育します。
まず、設計図を書いてみよう。
実際に作ってみて、生き物を飼ってみながら水槽を改善していきましょう。
- 4 もう一度自分たちのまわりを観察して、生き物が住みやすい環境について考えましょう。

準備

用意するものは

水槽 水草・砂や砂利・石
たも網とバケツ カメラ

服装は

活動しやすい服装で、長靴をはくとよいでしょう

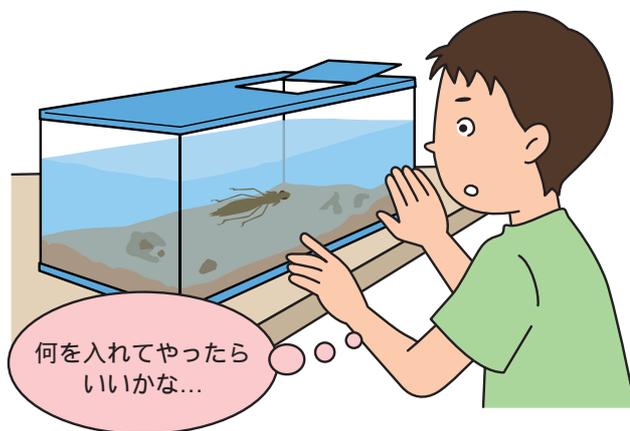
活動の場所

近くの溝や水路

田んぼのまわりや休耕田きゅうこうでんなど、水の中の生き物が住んでいそうな場所

気をつけよう!

深い池には行かない。田んぼやあぜ道、休耕田に入る時は持ち主の方の許しをもらおう。

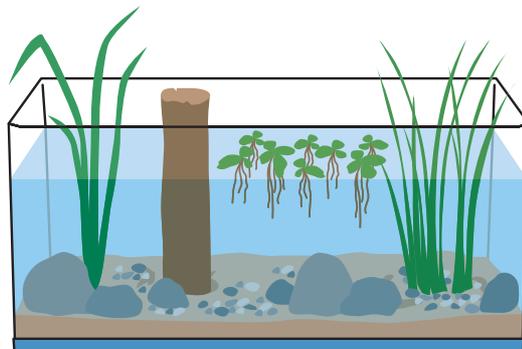


資料

生き物は自然に近い環境で飼うことが一番です。その飼育方法を紹介します。

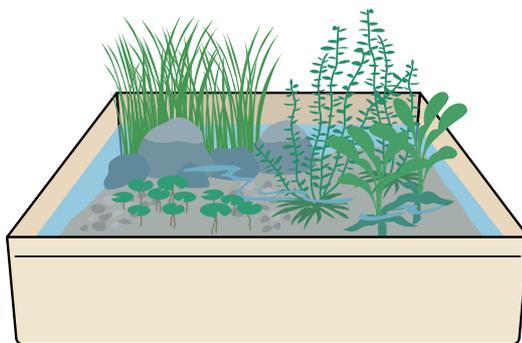
【飼育ケースを利用した水槽】

店に売ってある水槽で飼ってみましょう。底には砂や砂利を入れます。観察場所に生育していた水草を入れてみましょう。生き物によっては羽を乾かすための棒なども必要です。酸素が不足することがありますので、その時はエアレーションを用いましょう。



【コンテナ型的水槽】

衣装ケースなどで作った池も生き物を飼うのに便利です。ケースの底には土を敷きます。底土は植物が根を張るだけでなく、太陽光を吸収して水温を上げたり、水質を一定に保ったり、水槽内の微生物の繁殖を促したりします。田んぼや休耕田きゅうこうでんの土を入れるのがよいです。近くの田んぼや休耕田きゅうこうでんから水草をとってきて入れましょう。



【バランスドアクアリウム】

上にあげた2つの飼育方法とは違って、閉鎖系の環境の中で生き物を飼う方法です。生き物がいた場所の土や砂、水草を入れてみましょう。入れる量は飼う生き物の種類や数によって違います。日光の量も考えて、いろいろ試しながら一番よいと思う環境を作ってください。入れる生き物はメダカなら1匹、エビなら2匹くらいが適当です。



資料

前ページに紹介した水槽の中でも生き物の観察はできますが、もっとくわしく観察するために、次のような方法もあります。

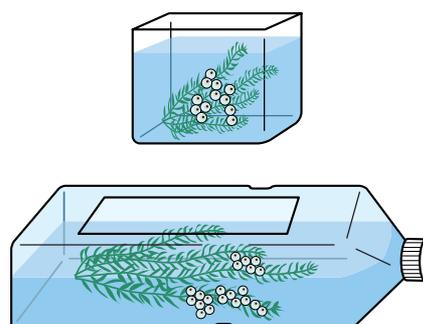
【トンボの羽化を観察するとき】

ペットボトルに棒を立てます。羽が4枚見えてきたら羽化する前です。



【メダカの子を産んだら】

メダカが卵を産んだら、小さな容器に移してその発生の様子を観察してみましょう。



発展

もし、条件が許せば実際の地面を掘って、ビオトープを作るともっといろいろな生き物が集まってきます。(ビオトープとは野生生物が生存する空間を示す言葉です。大規模なものではなくても校庭の隅などのささやかな空間でもいろいろな生き物を引き寄せることができます。)

作り方

地面を掘ります。

ビニルシートをしいて水が染み込んだり、抜けたりするのを防ぎます。

近くからいろいろな水草をもってきて植えます。プランターや鉢に植えて沈めてもいいです。

浅い所と深いところをつくといいでしょう。

まわりに食草となる植物を植えると、陸のいろいろな生き物も集まってきます。



ビオトープ



きゅうこうでん 休耕田や水田ウォッチングを しよう

調べた日	年 月 日 ()	グループ名	
時間	時 分 ~ 時 分	氏名	
天気		気温	

きゅうこうでん
休耕田や水が引かれた田んぼなどに行って、生き物を見つけましょう。その生き物がどんな場所に住んでいるかくわしく観察しましょう。

きゅうこうでん
休耕田

田んぼのまわりの水路やあぜ道

水が張られた田んぼ

生き物が住むためにはどんな条件が必要だろうか。考えてみよう。



わたしのミニ水族館を作ろう

(設計図をかこう)

調べた日	年	月	日()	氏名	
------	---	---	------	----	--

飼いたい生き物を決めて、その生き物にとって住みやすい環境とは何かを考えながらミニ水族館を作ってみよう。その生き物が生きていた実際の自然を観察することも大切です。(資料も参考にしてください。)

飼いたい生き物

水槽に必要な条件	そのわけ

ミニ水族館の設計図を書いてみよう。説明も書き込もう。

--

この水族館を実際につくってみて、生き物を飼ってみよう。そして、生き物の様子を見ながら、すみやすい環境について考えながら作り直していこう。



守られているかな 生き物のすみかが

調べた日	年 月 日 ()	氏名	
------	-----------	----	--

これまでミニ水族館で観察したり調べたりしてきたことを今度は身近な自然にあてはめてみよう。そして、生き物が生息していそうな場所を見つけよう。

生き物が生息していそうな場所の予想 (見つけやすい生き物) 理由も書けるといいね	実際にいってみたら (見つけた生き物)

今までの活動を通して、多様な生き物が生息するためにはどんな条件が必要かを話し合ってみよう。そして、わたし達ができることも考えてみよう。